

# R.I.D 2550 TOCHIGI GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2025.05

## Vol.11

Rotary



01



02

ガバナー  
Message

ユネスコ無形文化遺産  
国指定重要無形民俗文化財  
鹿沼秋まつり彫刻屋台

「下横町」



国際ロータリー第2550地区【栃木】2024-2025年度

**My ROTARY** | Rotary International

日光物産商会(日光市)



## 03 実施事業報告

- ◆第7グループ IM開催報告
- ◆第8グループ IM開催報告
- ◆2025-26年度  
PETS,SETSセミナー報告

ユネスコ無形文化遺産  
国指定重要無形民俗文化財  
鹿沼秋まつり彫刻屋台

「銀座一丁目」



記事をタップ  
ページにとびます



04

新入会員紹介

05

主要行事予定

06

会員数報告

07

コーディネーター  
NEWS

08

お知らせ

09

コラム



## THE MAGIC OF ROTARY

ステファニー・アーチックRI会長は、ロータリーのマジックを強調します。ロータリー会員はプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、マジック（魔法）を生み出しているとアーチック会長は述べます。

# 4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか





## GOVERNOR MESSAGE

国際ロータリー第2550地区 2024-25年度ガバナー

**市田 登** 鹿沼ロータリークラブ



皆さま、こんにちは。新緑がまぶしい季節となり、ロータリー活動にもいっそうの活気が感じられるこの頃、地区内の各クラブにおいて、さまざまな行事や奉仕活動が精力的に行われていることを大変うれしく思っております。

先月は、いくつかのクラブの創立記念式典に出席する機会をいただきました。歴史あるクラブの節目を皆さまと共に祝い、その歩みを振り返る時間は、私にとっても大きな学びと感動の連続でした。

こうしたクラブの継続的な活動を支えるものは何か。それは、まさに「不易流行（ふえきりゅうこう）」の精神に他ならないと思います。ロータリーの基本理念である「超我の奉仕」や「職業奉仕」の精神は、時代が変わっても決して変わることはない“核（コア）”です。これが「不易」です。一方で、社会の変化や会員構成の変化に応じて、活動の手法やテーマは柔軟に進化していく必要があります。これが「流行」です。

不易の精神を大切にしながらも、流行に応じて自らを変化させていくことで、クラブは活力を保ち続け、地域社会からも支持される存在であり続けることができるのだと思います。

そして、創立記念式典を通じてもうひとつ感じたのは、「楽しいクラブ」であることの重要性です。仲間と顔を合わせ、笑顔を交わし、時には冗談を言い合いながら過ごす例会は、ただの会合ではありません。そこには信頼と友情が育まれ、会員一人ひとりの居場所があるのです。

奉仕活動の原動力もまた、こうした「楽しさ」や「つながり」から生まれているのだと実感しました。楽しいからこそ続けられる。楽しいからこそ人を誘いたくなる。そして、楽しいからこそ、自分の役割にも前向きに取り組むことができるのです。

これからも、それぞれのクラブが「不易流行」のバランスを保ちながら、そして「楽しいクラブ」であり続けながら、さらに魅力的なクラブとして発展していかれることを心より願っております。

引き続き、皆さまのご活躍を祈念しております。





# EVENT REPORT No,01

2025年3月29日(土) 古峯神社

2024-25年度 RI第2550地区第7グループ

## IM開催報告

第7グループガバナー補佐  
鹿沼中央ロータリークラブ

池澤 達夫

3月29日に古峯神社にて、IMを開催いたしました。

午前中は、IMの特別事業として、リオ、東京オリンピック2大会に日本代表として出場されました、石原奈央子様にはクレール射撃の説明と実演を行っていただきました。冷たい雨が降る中でしたが、どんな状況でもクレールを撃ち落とす所を見学して、参加者全員が驚きと感動でクレール射撃を見学していました。

昼食後、インターシティミーティングを、来賓に鹿沼市長 松井正一様、ガバナー 市田登様、パストガバナー補佐 沼尾貴文様、ガバナー補佐エレクト 和貝益男様をお招きし、会員92名の参加をいただき、神社内の大広間にて開催いたしました。

開会セレモニーの中で、市田ガバナーの



ご挨拶をいただき、ガバナーに、第7グループ会員より感謝の意を込めて、花束を贈呈させていただきました。

また、今回の記念講演は奉仕について考えようということで、栃木県社会福祉法人経営者協議会会長の菊地月香様に「奉仕の原点は思いやりの心」サブテーマ「福祉から学ぶ奉仕の心」をテーマに、福祉事業を営んでおられる中で感じている奉仕の心、思いやりの心を実践を通してお話しをしていただくことが出来ました。

その後、各クラブの活動報告を行いました。各クラブとも、地域そして世界を良くするために、事業計画を立て、それに向かって会員全員で行動し、成果を上げる、まさにマジックを生み出しておりました。全体的に地域

性があり、地域に対しての奉仕の意識が高いところが感じられ、多くのマジックを達成できておりました。

そして、古峯神社の神殿にて、参加者全員で身体健全のご祈禱を行い、最後に、今年度の第7グループ内の活動の慰労を兼ねた懇親会を行いました。懇親会では、皆で参加出来るゲームを用意して、楽しいひと時を過ごして、ガバナーのテーマ「ロータリーを楽しもう」で締め括りました。

以上報告とさせていただきます。





# EVENT REPORT No.02

2025年2月8日(土) ニューミヤコホテル

## 2024-25年度 RI第2550地区第8グループ IM開催報告

第8グループガバナー補佐  
足利ロータリークラブ

柳川 英一

当日は14時30分、照本夏子司会のもと、柳川ガバナー補佐の点鐘で開会し、橋本ソングリーダーの指揮で国歌斉唱、ロータリーソング斉唱後、第1部本会議に入りました。五十嵐実行委員長の開会のことば、主催者代表として柳川ガバナー補佐の挨拶のあと、各クラブの活動をクラブ会長より報告して頂きました。クラブ報告後、米山奨学生のシェルパ・ラクパチリさん、イスラム エムディ、ナイルムさんからひと言挨拶をしていただき、次年度ガバナー補佐の足利東ロータリークラブの戸塚守様からも挨拶をいただきまして、柳川ガバナー補佐の点鐘で第1部本会議が終了しました。

約15分の休憩後、第2部記念講演会を柳川ガバナー補佐の講師紹介で15時50分開会



しました。記念講演会は栃木県立足利高等学校校長の武藤敬一様による『「学校の目指すところ」と「足利高校の取組」』という演題で約1時間講演をいただきました。その後質疑応答を行い、第2部記念講演会を終了しました。

第3部は17時より足利4RC会員の親睦と友情を深める懇親会を、ミニコンサートをスタートに開宴しました。ミニコンサートはレーヴ・デュオソーンのフルート奏者の小山花波さんとピアノ演奏の須藤ちひろさんによる楽しいコンサートでした。コンサート終了後、亀井足利RC会長の乾杯で懇親会が始まり、あっという間の2時間が過ぎ、最後に「手に手つないで」で19時、インターシティ・ミーティングは終了いたしました。





# EVENT REPORT No.03

2025年3月30日(日) ベルヴィ宇都宮

2025-26年度 RI第2550地区

## 会長エレクト研修セミナー(PETS) 幹事エレクト研修セミナー(SETS) 開催報告

PETS/SETS実行委員長  
宇都宮陽北ロータリークラブ

三井 良春

2025年3月30日(日)ベルヴィ宇都宮にて、2025-2026年度のPETS並びにSETSを宇都宮陽北RCのホストで同時開催致しました。地区役員、PG、47クラブ5ローターアクトの会長エレクト・幹事エレクト総勢145名の皆様が参加された事をご報告致します。

まず初めに、市田登ガバナーよりPETS・SETSの目的についてお話を頂き、続いて二十二修ガバナーエレクトは、全参加者での「ロータリーの目的」唱和を導入とし、次年度RI会長のメッセージ『よいことのために手を取りあおう』と次年度ガバナー方針『ロータリーは人をつくり友情を育む』について映像を交え丁寧に説明を進め、参加者は次年度への期待と緊張感に包まれました。

次に、鈴木宏地区ラーニングファシリテーター



ターからは「会長エレクト、幹事エレクトの皆様へ」と題し、PPを最大限活用され解りやすく、参加者中心の学習(ラーニング)が行われました。

続いて、次の5つの件:危機管理・クラブ行動計画の推進・ロータリーの友・次年度地区資金予算及び承認・公式訪問に関して、解りやすく説明をいただき、午前の部は終了となりました。

昼食会場はグループごとに着席、会長幹事にガバナー補佐を交え食事をとりました。午後の部では、ガバナー補佐と会長幹事がグループごとに分かれ、「次年度のクラブ計画」「クラブ行動計画および3-Year Rolling Goalsについて」をテーマに、グループディスカッション&アナウンスメントが行われました。

その後、各委員長による委員会方針の発表が行われ、鈴木宏地区ラーニングファシリテーターより講評を頂き、閉会となりました。次年度が目前にせまり不安を抱える中、今日のセミナーを通し、いくらかでも払拭できれ

ば幸いです。ホストクラブを代表し、RID2550全クラブのロータリー活動が円滑にそして実りある事をご祈念申し上げます。

最後に、講師並びに地区役員・地区委員長の皆様、クラブメンバーに感謝申し上げます。そして、二十二修ガバナ一年度もどうぞよろしくお願いいたします。





# NEW MEMBER

## 新入会員



### 下野上三川RC

栃木銀行石橋支店  
支店長

### 長岡 裕介

(ながおか ゆうすけ) 2025.4.1入会

前任の柳澤に代わり新たに入会致します長岡  
です。よろしくお願いいたします。



### 鹿沼RC

北海林産株式会社  
取締役

### 清水 秀晃

(しみず ひであき) 2025.3.27入会

広葉樹材の材木屋を営んでおります。どうぞ  
よろしくお願いいたします。

24-25・25-26年度 地区内主要行事

月	日・曜日	地区内	場所
5	8 (木)	25-26年度第5回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
6	7 (土)	RI卒後コース	ホテルニューイタヤ
	8 (日)	高校生RYLAセミナー	宇都宮文星女子高等学校
	12 (木)	25-26年度第6回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	14 (土)	インターアクト第2回合同会議	ホテルニューイタヤ
	15 (日)	米山第1回地区米山委員会	ホテルニューイタヤ
	15 (日)	米山奨学生 卓話研修会	ホテルニューイタヤ
7	15 (日)	青少年交換 最終オリエンテーション及び卒業式	ベルヴィ宇都宮
	6 (日)	25-26第1回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮
	6 (日)	25-26第1回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮
8	27 (日)	米山クラブ委員長会議	ホテルニューイタヤ
	8 (金)	第29回インターアクト年次大会 <small>ホスト：宇都宮南高等学校</small>	ホテルニューイタヤ
	19 (火)	青少年交換 帰国学生報告会及び1BS歓迎夕食会	
	22 (金)	米山奨学生学校説明会 (指定校対象)	オンライン
9	23 (土)	地区クラブ活性化セミナー	ベルヴィ宇都宮
	26 (金)	25-26年度地区大会記念ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ
	27 (土)	25-26 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ベルヴィ宇都宮
11	28 (日)	25-26地区大会 本会議	ライトキューブ宇都宮
	9 (日)	米山カウンセラー研修会	ホテルニューイタヤ
	16 (日)	第28回地区親善野球大会	鹿沼市運動公園野球場 (ヤオハンいちごパーク)
	22 (日)	米山面接官任命 面接官オリエンテーション	ベルヴィ宇都宮
12	22 (日)	米山学友会総会・米山ナイト	ベルヴィ宇都宮
	14 (日)	米山2026学年度奨学生選考試験	ホテルニューイタヤ
	21 (日)	25-26 第2回訪問委員会	ベルヴィ宇都宮

国際ロータリー第2550地区 2025年3月会員数報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数							
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	3	19	19	0	0	2	2	0	2
	黒 磯	3	33	33	0	0	0	0	0	3
	西那須野	3	43	42	0	2	2	3	-1	3
	黒 羽	3	7	6	0	0	0	1	-1	0
	大田原中央	2	21	18	0	0	1	4	-3	1
第2グループ	烏 山	3	14	14	0	0	0	0	0	2
	氏 家	3	27	27	0	0	0	0	0	3
	馬頭小川	3	15	16	0	0	1	0	1	0
	高根沢	3	11	12	0	0	1	0	1	1
第3Aグループ	宇都宮	4	93	90	1	8	9	12	-3	4
	宇都宮西	3	64	66	0	1	5	3	2	0
	宇都宮北	3	38	40	1	0	2	0	2	0
	宇都宮90	5	38	39	0	0	2	1	1	6
	宇都宮陽北	4	48	57	0	1	14	5	9	8
第3Bグループ	宇都宮東	4	102	100	0	0	2	4	-2	0
	宇都宮南	4	56	55	0	3	5	6	-1	6
	宇都宮陽東	4	48	48	0	0	0	0	0	10
	宇都宮陽南	3	19	18	0	0	0	1	-1	5
	宇都宮さつき	5	23	23	0	0	1	1	0	4
第4グループ	真 岡	3	49	49	0	1	3	3	0	0
	益 子	4	32	34	0	0	3	1	2	3
	真岡西	4	38	38	0	1	1	1	0	5
	下野上三川	4	21	23	1	0	2	0	2	3
第5グループ	小 山	3	18	22	0	0	5	1	4	1
	小山南	4	15	16	0	0	1	0	1	2
	小山東	3	22	22	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	24	26	0	0	2	0	2	0
	小山中央	2	23	24	0	0	1	0	1	2
第6グループ	栃 木	4	43	44	0	0	2	1	1	6
	栃木西	4	29	31	0	0	3	1	2	0
	岩 舟	2	8	9	0	0	1	0	1	0
	壬 生	2	16	15	0	0	0	1	-1	1
	栃木南	3	35	37	0	0	3	1	2	8
第7グループ	日 光	3	17	17	0	0	1	1	0	4
	鹿 沼	3	63	63	1	0	2	2	0	2
	今 市	2	37	42	0	0	6	1	5	1
	鹿沼東	4	41	42	0	0	2	1	1	6
	鹿沼中央	2	11	11	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	3	26	26	0	0	2	2	0	0
第8グループ	足 利	2	20	24	0	0	5	1	4	2
	足利東	3	38	37	0	2	1	2	-1	3
	足利西	2	10	12	0	0	2	0	2	0
	足利わたらせ	3	28	28	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐 野	3	47	49	0	0	3	1	2	0
	葛 生	4	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	3	43	44	0	0	4	3	1	0
	佐野東	3	21	21	0	0	0	0	0	2
47RC		1533	1568	4	19	102	67	35	110	



ロータリー財団イタリア・インパクト旅行に参加して

## 第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター 飯村 慎一（宇都宮 90RC）

この度、ロータリー財団(TRF)のマーク・マローニー管理委員長が、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)8名の会員でイタリア・インパクト旅行団を形成し、私もその一員として参加する機会が与えられました。

この企画は、管理委員会で承認され、2024年10月の議事録に次の様に載っております。

【ロータリー財団への主要寄付者とのつながりを強化し、財団プロジェクトを紹介するために事務総長は、2025年に管理委員長がホスト役を務め、最大7名の高額及び主要寄付者とそのパートナーを対象に、特別なインパクト旅行体験を提供することを提案した。

決定:管理委員会は、2024-25年度の寄付インパクト旅行を承認し、管理委員長とパートナーの参加を要請する】。

その結果、マローニーご夫妻が団長として、米国、インド、フィリピン、台湾、日本などの国々から8人のAKSとそのパートナーを招待し(費用は全額自己負担)、総勢20名で構成された旅行団で、日程は、3月13日～21日の9日間でイタリアを回る強行軍でした。

〈トリノ〉初日、メジャードナー顕彰・晩餐会が実施され、イタリアの14地区からガバナーが出席し、表彰されたメジャードナーの方々に祝福しました。旅行団員の中から代表で米国のAKS(レベル3)ご夫妻が登壇し、次の様なスピーチをされました。【私達は、社員数70人の中小企業を経営しておりますが、今回、世界の恵まれない人々へ少しでも支援できればと思います、百万ドル(1億5千万円)を寄付しました】。今まで、イタリア全地区でAKSの数は3人だけでしたので、小さな会社でも多額の寄付ができたこのAKSの事例には、イタリア人からは大変な反響を呼び、大きなインパクトがありました。

〈フィレンツェ〉100年前からの歴史ある豪華絢爛な例会場で地区・クラブの財団活動の説明を受け、又、意見交換を致しました。帰国後、地区財団委員長から次の様なメールが届き、私自身、励まされました。【この度は、フィレンツェを訪問し、ロータリーの強い情熱を示していただきまして有難うございました。皆様の事例は、私達が偉大なる奉仕の精神を持って世界を良くしていこうとする活動へ大きな励みとなりました。】

〈ローマ〉ローマRCは創立100年を迎え、私達の日程に合わせ、100周年記念晩餐会を開催されました。又、数年前から市内の病院でグローバル補助金プロジェクトが始められ、現在、効果的に機能している様子を視察し、確認いたしました。

今回の訪問は、イタリアの各地区・クラブでAKSの活動を知っていただき、ファンドレイジングと、地区・グローバル補助金プロジェクトの重要性を認識していただいたインパクトのある旅行で、素晴らしい体験でした。陽気で情熱的な国民性の彼らと交流していると、正に[ロータリーは世界を繋ぐ]ことを実感いたしました。5月のTRF管理委員会でマローニー委員長がどのような報告をされるのか、今から楽しみです。





「モノ」から「コト」へ

## 第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 小林 聡一郎（甲府北 RC）

観光で日本を訪れる人々の関心や興味が変わってきて、日光では陽明門を見る人々も当然いますが、その脇道の70体の苔むした地蔵が並ぶ道を訪れ、個性あるお顔の違いに興味をもったコメントも聞くこともできました。ラーメンや寿司、天ぷらもそうでしょうが、和食への関心も高くなっていて、訪日目的として食べ歩く体験も楽しみになっている様子です。

これらのこととロータリー公共イメージがどのようにリンクするのか？と思われたかもしれませんが、「モノからコト」への変化はロータリーにも起きています。ロータリー会員個々がクラブに集い、親睦や奉仕活動を通してクラブライフを共有することがロータリーであるという感覚がクラブという「モノ」であるなら、クラブという大括りのモノから、もっと個別な個人としての体験や実感など「コト」に移行するのは時代の必然のように思います。



物質的な所有から体験やサービスへのシフトは、いくつかの要因が複合的に作用していると言われます。経済側面から見ると、物質的豊かさがある程度水準に達し新たな価値を求めようになり、この価値が体験やサービスへと移行、その背景には物質的な所有よりも持続的な満足感や記憶に残る体験を重視する傾向が強まったこと、また物質的な所有よりも体験の方が、その記憶が繰り返され持続的な幸福感をもたらすことと、さらには体験により他者との社会的つながりや認知的な共感を促進できるという側面もあります。社会的には、インターネットやSNSの普及で多くの体験やサービスにアクセスでき、物質的な所有よりも多様な選択肢を得ることができるようになったことも挙げることができます。

さてそこで、クラブに入会を誘う人々や、新聞・テレビを視聴する方々の関心の多くが「コト」であるのなら、いつまでも「モノ」の楽しさや優位性を広報しても、それらの方々には響かず、あまり効果は認められない時代になりつつあるのではないのでしょうか。体験やサービスを通して「コト」に共感する「心に響く広報とは？」「好意的な公共イメージとは？」。これまでの考え方や取り組みに自ら疑問符を付け、変化を加えてみたらどうかと思いますがいかがでしょう。My Rotaryにもストーリーを伝えるなど幾つかが掲載されていますが、日本においては独自に日本流にアレンジし、クラブやロータリー会員が「コト」に向かって納得して取り組める活動になるような、何かよいアイデアはありませんか。キーは、曖昧な公共という概念ではなく、「パーソナルイメージの向上」の取組みではないかと思います。



ローターアクトクラブの会員増強

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 大森 克磨（大分キャピタル RC）

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ国際ロータリー会長エレクトは、会長メッセージにおいて、「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。」と述べられました。

ところで、第3地域においては、Elevate Rotaractを推進する水野功 RI 理事の指示により、本年2月から3月にかけて、ローターアクトクラブ及びローターアクトクラブ提唱クラブに対し、実態調査のためのアンケートを実施致しました。

そして、この調査で私が実感したのは、Elevate Rotaractを推進するには、ローターアクトクラブこそ、より強力に会員増強を図るべきだということです。

アンケートの回答を見ると、ローターアクトクラブ自体もElevate Rotaractを推進できない理由として、ローターアクター不足を挙げてはおりますし、また、クラブや地区での担当の行事が多い、本業が忙しくてローターアクト活動に十分な時間を割けない、なども根本的にはローターアクター不足が原因であろうと思われます。

また、例えば、地区ガバナーは、すべての地区委員会にローターアクターを任命することが強く推奨される（ロータリー章典17.030.2.）こと、Elevate Rotaractの一環ですが、これを実現するためにはローターアクターを増強せざるを得ないのです。

My Rotaryのレポートによれば、2025年4月1日現在の世界のロータリークラブ数は36,546クラブで、ロータリークラブの会員数は1,164,928人ですので、1クラブ当たりの人数は31.87人となります。

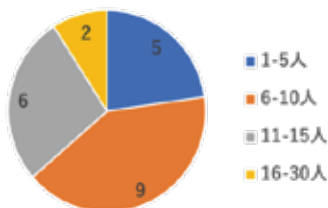
同日現在の日本のロータリークラブは2,194クラブ、ロータリークラブの会員数は83,356人で、1クラブ当たり37.99人であり、世界平均をかなり上回っております。

他方で、同日の世界のローターアクトクラブ数は9,350クラブ、ローターアクトクラブ会員の数は132,555人であり、1クラブ当たりの数は14.17人なのに対し、日本のローターアクトクラブ数は289クラブ、ローターアクトクラブ会員の数は2,662人ですので、1クラブ当たり7.9人であり、世界の平均に遙かに及ばないことが分かります。

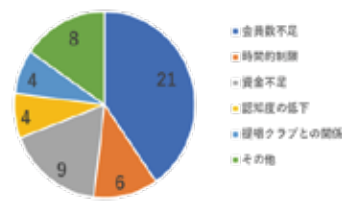
ロータリークラブも会員増強は急務ですが、ローターアクトクラブの方が会員増強はより急務と言えるのではないのでしょうか。



会員数 (回答 22クラブ)



RA地位向上が図れない理由、問題点、今後の方針 (回答 42クラブ 重複回答あり)



田沼ロータリークラブ例会場及び事務所変更のお知らせ

田沼ロータリークラブ新例会会場

〒327-0312  
佐野市栃本町2237-1  
佐野市あそ商工会館 2F会議室

田沼ロータリークラブ新事務所

〒327-0317  
佐野市田沼町815-1  
大島造園有限会社 田沼支店 内  
電話 0283-55-7575  
FAX 0283-23-1634

## コラム



### 今月号表紙 『日光物産商会』日光市

日光における商業建築のはしりといわれ、当初は大島骨董店として明治38年着工するも資金不足により鬼怒川温泉ホテルを経営する金谷正生が引き継いだ。完成後、金谷ホテルの経営で日光彫りや漆器などの製造・販売・輸出を手がけていたが、昭和3年に日光物産商会として独立。

### ユネスコ無形文化遺産 国指定重要無形民俗文化財 鹿沼秋まつり彫刻屋台

#### 今月の彫刻屋台：「下横町」

鹿沼宿は、内町通り(大通り)と田町通りの南北2本の道筋からなり、それぞれを結ぶ東西2本の横町が発達して、北が上横町、南が下横町となった。下横町は宿内では一番小さい町でも、やはり屋台を有して今宮神社の付け祭に参加していた。文化年間(1804頃)製作の屋台で、脇障子が黒漆塗で、額付明り障子窓などとともに文化・文政年間に見られる特徴が多い。その脇障子には「芙蓉(蓮の花)に鳩」が彫られている。彫刻屋台では珍しい芙蓉が取り入れられている。鬼板(おにいた)と懸魚(げぎょ)の「芙蓉」が一体となって華麗さを誇り、「花鳥」を主体とした美しい屋台である。安政3年(1856)に屋根を作りかえ、大正15年には台輪をとりかえるとともに、彫師芥川により、それに見合った高欄下(こうらんした)や車隠しが取り付けられ、また障子回りなども新しく作られた。(昭和61年市指定有形文化財)

#### 今月の彫刻屋台：「銀座一丁目」

上横町の東が分離して東横町となり、明治7年に東(あずま)に嘉字をあてて吾妻町と改め、さらに昭和29年に銀座一丁目と改称した。当町の屋台は、黒漆塗屋台に白木彫刻という特異な様式で、最初塗屋台として造られ、後に禁令などから白木彫物がはめこまれたと考えられる。屋台箱に文化11年(1814)の銘があり、現存する屋台としては、久保町のとともに最も古い屋台である。天保3年(1832)に磯辺儀左衛門信秀4代目(凡龍齋)により高欄下(こうらんした)などの彫物が、そのほか安政2年(1855)などにも手を加えられている。彫物には明瞭に時代差が認められる。鬼板(おにいた)の「子引き竜」、懸魚(げぎょ)の「玉取り竜」、高欄下と車隠しが一体となった竜など竜の彫物が多い。「葡萄にリス」が前欄間から外欄間の一部にかけて彫られ、駆けているもの、食べているもの、子供を連れているものなど、いろいろなリスが配されている。脇障子は「鷲に猿」が基本的な構図で、梅の木とバラの彫物が施されている。県・市の助成にて、平成10年全面改修が完了した。(昭和61年市指定有形文化財)



「下横町」



「銀座一丁目」

#### 市田ガバナー公式Instagram

市田ガバナーの活動の様子など  
情報発信しています！  
ぜひフォローお願いします。

@GOVERNOR\_ICHIDA.2550



2025年5月1日

ガバナー月信編集チーム

【発行責任者】地区幹事 金子昭彦(鹿沼RC)

【メンバー】櫻井武彦・瀬谷一世・星野詠一

香川道雄・内野義忠・浅野知則 以上 鹿沼RC